

施策名	目標 3-6 東日本大震災への対応(環境モニタリング調査)	担当部局名	水・大気環境局 海洋環境課		
施策の概要	被災地及び周辺地域の基礎的な情報等を的確に把握、提供するための環境モニタリング調査等を実施する。	政策評価実施予定時期		政策評価実施時期	令和 6年 8月
達成すべき目標	被災地及び周辺地域の環境に関する基礎的な情報等を的確に把握し、情報を国民に提供することで、国民の不安解消と復旧・復興に資する。	政策体系上の位置付け	3. 大気・水・土壌環境等の保全		

施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)
 ○第五次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定)
 ○総合モニタリング計画(2011年8月モニタリング調整会議決定、2024年3月改定)

測定指標	基準値	基準年度	目標値	目標年度	年度ごとの目標値 年度ごとの実績値								測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠	達成
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度			
1 公共用水域放射性物質モニタリング調査の延べ調査回数(回)	-	-	3145回	-	3145	3145	3145	3145	-	-	-	被災地及び周辺地域の国民の不安解消と復旧・復興に資する基礎資料整備のため、公共用水域の放射性物質モニタリングを実施し、環境中の放射性物質に関する情報を収集している。モニタリングの測定指標の設定については、各年度のモニタリングの実施状況が反映される延べ調査回数を指標とした。また、目標水準の設定については、調査の過年度の実施状況を踏まえ、適切な目標回数を設定した。	○	
					2299	3145	3144	3144	-	-	-			
2 地下水放射性物質モニタリング調査の延べ調査回数(回)	-	-	369回	-	369	369	369	369	-	-	-	被災地及び周辺地域の国民の不安解消と復旧・復興に資する基礎資料整備のため、地下水の放射性物質モニタリングを実施し、地下水中の放射性物質に関する情報を収集している。モニタリングの測定指標の設定については、各年度のモニタリングの実施状況が反映される延べ調査回数を指標とした。また、目標水準の設定については、調査の過年度の実施状況を踏まえ、適切な目標回数を設定した。	○	
					369	369	369	363	-	-	-			
3 被災影響海域における海洋環境関連モニタリング調査の延べ調査回数(回)	-	-	144回	-	144	144	144	144	-	-	-	被災影響海域の国民の不安解消と復旧・復興に資する基礎資料整備のため、被災影響海域における海洋環境関連モニタリングを実施し、海域環境中の放射性物質等に関する情報を収集している。モニタリングの測定指標の設定については、各年度のモニタリングの実施状況が反映される延べ調査回数を指標とした。また、目標水準の設定については、調査の過年度の実施状況を踏まえ、適切な目標回数を設定した。	○	
					144	144	144	144	-	-	-			
4 ALPS処理水放出に関連する放射性物質の海域環境モニタリング調査の延べ調査回数(回)	-	-	492回	-	-	-	302	492	-	-	-	国民の不安解消や、風評の抑制のため、ALPS処理水放出に関連する放射性物質の海域環境モニタリングを実施し、放出開始前後の水環境中の放射性物質に関する基礎的な情報を収集している。モニタリングの測定指標の設定については、各年度のモニタリングの実施状況が反映される延べ調査回数を指標とした。また、目標水準の設定については、調査の過年度の実施状況やALPS処理水放出に係る社会的な状況を踏まえ、適切な目標回数を設定した。	○	
					-	-	302	492	-	-	-			

達成手段 (開始年度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号	達成手段 (開始年度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号	達成手段 (開始年度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号	達成手段 (開始年度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号	達成手段 (開始年度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号	
(1)	公共用水域放射性物質モニタリング調査 (平成23年度)	1	0127	(5)	—	—	—	(9)	—	—	—	(13)	—	—	—
(2)	地下水放射性物質モニタリング調査 (平成23年度)	2	0127	(6)	—	—	—	(10)	—	—	—	(14)	—	—	—
(3)	被災影響海域における海洋環境関連モニタリング調査 (平成23年度)	3	0127	(7)	—	—	—	(11)	—	—	—	(15)	—	—	—
(4)	ALPS処理水放出に関連する放射性物質の海域環境モニタリング調査	4	0127	(8)	—	—	—	(12)	—	—	—	(16)	—	—	—

評価結果	目標達成度 合いの 測定結果	(各行政機関共通区分)	②目標達成												
	目標達成が 出来なかった 要因、その 他施策の 課題等	(判断根拠)	天候等免れない理由による欠測を除き、概ね目標通りの調査を実施できた。												
	次期目標等 への 反映の方向 性	【施策】 【測定指標】	○次期の施策の達成すべき目標について 引き続き、被災地及び周辺地域の国民の不安解消と復旧・復興に資することを目的として、公共用水域、地下水、海域における放射性物質等のモニタリングの目標回数を達成し、環境中の放射性物質の状況等の基礎的情報を収集・蓄積する。 ○指標の目標の妥当性について 引き続き、社会的状況や過年度の調査実施状況等を踏まえて適切な目標回数を設定し、100%達成することを目標とする。												
学識経験を有する者の 知見の活用	○水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会等において、前年度に実施した調査結果について評価を行った。 ○ALPS処理水に係る海域モニタリング専門家会議等において、モニタリング計画・情報発信等について助言を頂いた。		SDGs目標との関係	【主な目標】 東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所から放出された放射性物質等に係る海域のモニタリング及びALPS処理水の海洋放出に係る放射性物質の海域環境モニタリング等を実施し、環境中の放射性物質の状況等の基礎的情報の収集・蓄積に努めた。当該取組を通じて、目標14番「海の豊かさを守ろう」の達成に貢献できた。 【副次的効果が期待される目標】 東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所から放出された放射性物質等に係る公共用水域、地下水における放射性物質等のモニタリングを実施し、環境中の放射性物質の状況等の基礎的情報の収集・蓄積に努めた。当該取組を通じて、目標6番「安全な水とトイレを世界中に」の達成に貢献できた。											
政策評価を行う過程 において使用した資料 その他の情報	○福島県及び周辺都県の公共用水域における放射性物質モニタリング結果(環境省HP) ○地下水質のモニタリング調査における放射性物質の測定結果(環境省HP) ○被災地における海洋環境モニタリング調査結果の公表について(環境省HP) ○ALPS処理水海域モニタリング測定結果(環境省HP)														